



平成19年1月30日

各位

会社名 日本鑄鉄管株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 吉川 敏孝  
 (コード番号: 5612 東証第1部)  
 問合せ先 取締役管理部門担当 深澤 寛  
 (TEL. 03-3662-5171)

## 平成19年3月期 業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

平成18年10月30日付当社「平成19年3月期 中間決算短信(連結)」及び「平成19年3月期 個別中間財務諸表の概要」で発表いたしました通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成19年3月期 連結通期の業績予想値の修正(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

## (1) 連結通期業績予想

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	19,000	600	230
今回予想(B)	18,000	300	100
増減額(B-A)	△1,000	△300	△130
増減率(%)	△5.3%	△50.0%	△56.5%
前期(平成18年3月通期)実績	18,256	672	△129

## (2) 個別通期業績予想

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	17,000	500	200
今回予想(B)	16,000	250	70
増減額(B-A)	△1,000	△250	△130
増減率(%)	△5.9%	△50.0%	△65.0%
前期(平成18年3月通期)実績	16,022	520	△192

## 2. 修正の理由

## 1) 個別通期業績予想の修正について

当社グループが主たる事業を展開しております上・下水道分野は、地方自治体の財政難等により予想以上に厳しい環境下で推移いたしました。このような中、エンジニアリング事業の受注が当初計画を下回るとともに、一部の工事が来年に延期されたため、売上高は前回予想に対して10億円減少する見通しであります。また、経常利益につきましても、下期での鑄鉄製品の販売数量は計画を上回る見通しがあるものの第3四半期での販売価格の低迷と、原材料価格の高騰による原価増により、前回予想に対して半減の2億50百万円、当期純利益につきましても1億30百万円減の70百万円となる見通しであります。

## 2) 連結通期業績予想の修正について

個別通期業績予想の修正にともない、売上高は10億円減少し180億円となる見通しであります。経常利益につきましても、鑄鉄製品関連の連結子会社の減益もあり前回予想に対し半減の3億円、当期純利益につきましても1億30百万円減の1億円となる見通しです。

上記の業績予想は本資料の発表時現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後のさまざまな要因によって業績予想と異なる可能性があります。

以上